

競技役員のポジション別の課題

1 審判長

- ・失格の判断・・・内容説明の判断は「相談」ではない。決断である。
- ・失格について、コーチから質問があった場合、コーチの説明責任は当該の審判長にある。その間は、リザーブの審判長が代わって笛を吹く。
- ・泳法と折返のリザーブが、アペールをしたポジションに入ることは、指示があって行動するのではなく、状況をみて自分の判断で行動すべきことである。もし、状況がわかっていない場合は、リザーブの近くにいる他の競技役員が教えてあげる。
- ・スタート違反に関する出発合図員との確認は、「自分の判断」を言う。相談ではない。

2 出発合図員

- ・発声と間合いについて
「ヨーイ」の発声は「Take your marks」と発声する感覚で言う。前日と当日の公式スタート練習で間合いの確認を行う。
- ・スタート違反に関する審判長との確認は、「自分の判断」を言う。相談ではない。
- ・失格に関するチームのビデオ映像は、判断材料にならない。

3 泳法審判員

- ・監察距離、監察角度を常に意識する。
- ・「リラックスする」「視野を広げる」「意識を集中する」ことが同時に必要。
- ・アペールする際の説明は、的確に短く行う。

4 折返監察員

- ・泳法と同様だが、監察において「視野を広げる」ことはない。
- ・再現性の説明で、左右の手を間違える場合があるので注意する。
- ・5mフラッグの脱着のタイミング、行動時の約束については、全パートで共通に。
- ・横退水の指示は状況に応じて行う。

例：1レーンの選手が、特にゴールが遅い場合

2レーンの選手が、特にゴールが遅い場合

4レーンの選手が、特にゴールが遅い場合

- ・リレーの引継ぎ（○、△、×）
- ・背泳ぎのデバイス

招集について

【予選競技】

1 招集所

(1) 招集所内の確認

- ・室温、臭い、ウォーターサーバー、空気清浄機、モニター、ポスター
- ・帳票類の整備

(2) ADカードとFINAマークの確認

- ・スタートリスト原本に確認のチェックをつける。
- ・この時点でADカードがない場合、招集として受け付けることはできない。
- ・FINAマーク剥離の場合「FINAマーク剥離による確認票」に記入させる。
(決勝も同様)

2 第1待機場所

(1) 招集所から第1待機場所への誘導

- ・1組ずつADカードを回収する。回収後ドーピングコントロールデスクへ運ぶ。

(2) 第1待機場所の整備

- ・ストレッチマット、ベンチ、ウォーターサーバー、選手の忘れ物

(3) 第1待機場所から第2待機場所（出発合図横のバナー・ベンチ）へ誘導する。

3 第2待機場所

(1) 第2待機場所の整備

- ・ベンチ、バナー、選手の忘れ物

(2) タイミングに合わせて入場させる。

- ・50m、100m……スタート後すぐ入場
- ・200m……100m通過で入場
- ・400m以上……ラストの100m通過で入場
- ・種目の変わり目は、ランキングの音始まりで入場

【決勝競技】

1 第1待機場所

- (1) 競技進行とトランシーバーを連絡をとり、入場のタイミングを確認する。
- (2) 5分前に選手に決勝ビブスを貼り始める。(胸の位置)
- (3) 1～2分前に入場の際の注意を説明する。
- (4) 30秒前に1レーンの選手から順に整列させる。
- (5) B決勝の場合、入場の間隔が均等になるように調整する。
- (6) 決勝では、入場の際の注意点を書いた紙を見やすい場所に掲示する。
- (7) 決勝では、入場のタイミングに合わせて、手を上げ下げして合図する。
- (8) 選手名、所属名の通告後に歩き始めているか確認する。

競技進行の確認事項

1 プール環境、施設、備品、用品

- (1) 水温 27.5 度、室温 25 度
- (2) 空調の吹き出し口、ドアの開閉 (係員つける必要?)
- (3) 照明調整 (100%、75%、50%) - 予選、決勝で異なる
- (4) 音響調整 (館内システム)、スピーカー、マイク
- (5) 電光表示
 - ・文字情報の確認
 - ・リザルトのタイミング
- (6) 大型映像
 - ・場内カメラの位置
 - ・動画……内容とタイミング
- (7) 床面、マット
- (8) フライングロープ、レーンロープのカバー、5mフラッグ (商標)
- (9) 本部席 (テーブル 2 列、6 台)、通告用モニター
- (10) 選手用椅子・衣類箱、競技役員用椅子
- (11) かご (10 個×4)、水浴用バケツ (10 個×2)、水補充用バケツ (2 個)
- (12) ストレッチマット (招集所)、ベンチ
- (13) 振鈴
- (14) パウチされた案内表示板
- (15) ユーストリーム (リザルト、動画)

2 会場設営

- (1) 入場ゲート
- (2) バックボード
- (3) インタビューボード
- (4) サイドボード
- (5) 植栽、パーテーション
- (6) NHK
 - ・ENG (観覧席、アリーナ、ターンサイド)
- (7) 報道
 - ・プレス席 (席順、表示、電源)
 - ・ミックスゾーン (仕切り方、マイク、スピーカー)
 - ・スチールカメラのエリア
 - ・受付
 - ・ワーキングルーム (席順、電源)
- (8) モニター、ドリンク
- (9) 公式掲示スペース

3 公式計時：セイコー

- (1) 0~9レーン → スタートインブロック、PT8000
- (2) コンピュータ担当の責任者の確認
- (3) セイコーの体制 (計時処理、電光表示)
- (4) 本部席の位置、電源、配線
- (5) 予備のタッチ板の保管場所
- (6) バックアップシステムの確認

4 救護・監視救護

- (1) 医師・看護師、救護室の確保
- (2) メインプール2人、サブプール1人
- (3) 救護監視以外の仕事：練習終了後の15mマークの修正、水中のキャップの撤収
- (4) 待機場所

5 審判長（競技の進行に関すること）

- (1) ショートホイスルのタイミング
- (2) 横退水の流れ

6 音響

- (1) 使用する曲の確認
(紹介、レース、退水、つなぎ、表彰、表彰入退場、競技役員入(2)退場、ファンファーレ、新記録など)
- (2) 飛込競技との関係について
・スピーカーの位置、向き
- (3) 館の音響システムの出カレベルの確認
- (4) PCの音響ソフト
- (5) 音響担当の席：本部席の後列
- (6) 通告席用モニタースピーカー

7 記録

- (1) 新記録一覧、失格一覧の作成
- (2) 決勝スタートリストの作成、配布方法
- (3) 予選の同着による抽選
- (4) 緊急連絡先の準備 (抽選の連絡)
- (5) 審判用紙の準備
- (6) 速報の体制

8 コンピュータ

- (1) 電光表示
- (2) 各競技、審判長の競技成立後、表示の並び替え(5秒間)
- (3) 予選最終組後、ランキング表示
- (4) 新記録発生時の表示のタイミング
- (5) 表示画面の確認
- (6) 新記録、大会記録の確認
- (7) 案内表示の入力

9 招集

- (1) トランシーバーを所持する人の確認
- (2) 招集所、アリーナの待機スペース
- (3) 水着のFINAマーク剥離に関する用紙の準備
- (4) 予選の入場タイミングの確定
- (5) 50m競技の流れと、かご隊の動き
- (6) 誘導の補助役員 決勝時の歩き方、姿勢、速度

10 かご隊、バケツ係

- (1) かごの置き場、数字のパウチ
- (2) 待機場所
- (3) 手順とタイミングの確認
- (4) 50m種目の手順

11 表彰

- (1) トランシーバーを所持する人の確認
- (2) 表彰台の位置、赤マットの有無
- (3) 表彰の流れ
- (4) 補助役員の、位置、姿勢、歩き方、タイミング、指示言葉、服装・白手袋について
- (5) メダル以外、表彰時に授与するものの準備

12 報道

- (1) 受付体制
- (2) 取材要項、配布プリント
- (3) 報道導線
- (4) 報道デスクと取材場所
- (5) 表彰時のスチール